

排水溝勾配仕上材

ビルモル 溝レベラー

マンションやビルなどベランダの排水溝を仕上げるのに最適です。

水練り後、流し込むだけで水勾配が取れ、コテ押えの必要はありません。

コンクリートと同等以上の強度を有し、接着力およびひび割れ抵抗性に優れています。



ビルモル 溝レベラー

排水溝勾配仕上材

施工要領

1	下地の清掃	下地コンクリート面のレイタンス、脆弱層、油分、汚れ等をワイヤーブラシやサンダー掛けなどで除去した後、水洗いをするなどして、強靱な素地を出して下さい。
2	墨出し	仕上げレベルの墨出しをして下さい。 施工可能な勾配は1m当り20mm以下として下さい。
3	吸水調整材の調合と塗布	「NICEラテックス#45」5倍液を刷毛で2回塗布して下さい。「NICEラテックス#45」:水=1:4) 必ず1回目の塗布が乾燥してから2回目を塗布して下さい。「NICEラテックス#45」の2回目の塗布が乾燥してから、「ビルモル溝レベラー」を施工します。
4	練り混ぜ	「ビルモル溝レベラー」1袋(25kg入)に対して、水6~6.5ℓをハンドミキサーで攪拌しながら「ビルモル溝レベラー」を徐々に投入し3分間以上攪拌を続けて下さい。
5	流し込み	墨に合わせてゆっくり流し込んで下さい。溝の末端(約15cm)近くなったら流し込み量を加減して下さい。
6	養生	施工終了後、風や直射日光等急激な乾燥を生ずるおそれのある場合は、シート養生をして下さい。 ※ドライアウト防止ー乾燥が激しい場合は、施工の翌日に散水養生を行って下さい。 ※白華防止ー梅雨・冬期時は流し込み後、降雨・降雪に遭うと白華発生の恐れがあるのでシート掛け養生などの適切な防止策をして下さい。



性能試験

試験項目	単位	試験結果	試験方法	
単位容積質量	kg/ℓ	2.0	JIS A 1171 準拠	
フロー値	cm	19.2	JASS 15 M-103 準拠	
凝結時間	始発	時:分		8:15
	終結	時:分		10:11
圧縮強度	N/mm ²	22.1		
下地接着強度	N/mm ²	1.5		
表面接着強度	N/mm ²	1.3		
長さ変化	%	-0.08		
衝撃	—	割れおよびはがれなし		

※試験結果は、JIS規格等に規定された条件下で行った試験値であり、実際の施工現場での結果を確実に保証するものではありません。

1袋当りの施工長さ

	厚さ	幅	長さ
1袋(25kg)当り (水量仮に6.25ℓの場合)	15mm	10cm	10.4m
		15cm	7.0m
施工可能勾配	1m当り約20mm以下の勾配		
標準加水量	約6~6.5ℓ/袋		
練り上がり量	約16ℓ		

■荷姿：25kg/袋



取扱い時の安全対策(概要)

[1] 取扱い及び保管上の注意

- 目や皮膚などに触れないように適切な保護具(保護手袋、防塵マスク、保護メガネ等)を着用して取り扱って下さい。また、取扱い後は顔、手、口などで洗浄して下さい。
- 製品は屋内の湿気の少ない場所に、床面から離して保管して下さい。

[2] 応急処置

- 目に入った場合：直ちに清浄な水で最低15分間洗眼し、速やかに専門医の治療を受けて下さい。
- 皮膚に付着した場合：速やかに水または温水で十分に洗い流して下さい。肌荒れがひどい場合は、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- 吸引した場合：速やかに新鮮な空気のある場所へ移動し、水または温水でうがいをして必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- 飲み込んだ場合：水でよく口の中を洗うなどして、直ちに医師の診断を受けて下さい。
[まずは、飲み込まないように注意して下さい。]

[3] 濾出時の注意

- 飛散した粉末は掃除機で吸い取って回収するか、ホウキやスコップで集め空袋などに回収して下さい。

[4] 廃棄上の注意

- 廃棄する製品や練り材などは硬化させてから、産業廃棄物として適切な処置をして下さい。また、洗浄水などの排出は水質汚濁防止法などに注意して下さい。

[5] 輸送上の注意

- 破袋、荷崩れ、落下などの防止を確実に行って下さい。また、降雨時の湿気や水漏れに注意して下さい。

※安全についての記載は現時点で入手できた資料及び情報にもとづいて、通常の実用を前提に作成しています。しかし、現場での結果を保証するものではありません。安全には十分にご注意の上お取り扱い願います。



使用上の注意事項

- 本品は厳重な品質管理のもとに製造している既調合品です。指定材料以外の材料を練り混ぜないで下さい。尚、混練りには水道水などの清水を使用して下さい。
- 混練りした材料は夏期1時間、冬期2時間以内に使用して下さい。練り足しや加水して練り戻しをしないで下さい。
- 強風や直射日光などによる乾燥を防止するために、シート養生などの適宜な措置をして下さい。
- 本品使用時の施工は、気温が5℃~35℃の範囲内で行って下さい。
- 製品の製造年月日を確認し、製造から6ヶ月以上経過した製品は使用しないで下さい。また、開封した製品はできるだけ早く使用して下さい。

プレミックスの開発メーカー



株式会社 豊運



本社 〒546-0003 大阪市東住吉区今川3丁目12番4号

TEL 06-6708-8132 FAX 06-6769-2801

東日本営業部 TEL 0247-54-3232 FAX 0247-24-1004 岡山営業部 TEL 0868-38-4001 FAX 0868-38-7022
大阪営業部 TEL 06-6708-8131 FAX 06-6708-8133 京都営業課 TEL 0771-86-0711 FAX 0771-86-0811

URL: <http://www.ho-un.co.jp/>

※本カタログに記載されたデータ・仕様・施工方法等は、作成時点で入手できた情報・データに基づいており、実際の現場での結果を確実に保証するものではありません。また、本カタログの内容は、断りなく変更することがありますので、ご了承下さい。